

基礎統計学レポート 第5回

提出：学務スタッフまで **9/9 限り**

[1] あなたの住む市、県について、2002年度における交通事故派生件数、同死者数、負傷者数を調べなさい（市役所、県庁、警察署の部課あるいはホーム・ページ）。さらにそのデータに対し、授業で紹介したと同様の分析（字数もほぼ同じとする）をおこない、その説明文を作りなさい。「同様」とは、分析の考え方、方法が類似していることを示す。

分析には、最初に分析の表題をつけ（やや大きい字体とする）、データの表を示し、そのデータの下部に表題をつけ、分析文は「以下のデータは・・・」ではじめ、分析は2点、計算とその理由、結論を明確に示すこと（結論には下線）。

なお、この問題文自体は書かず、また「答」などと書かないこと。

[2] 松原望(2005)「意思決定の統計学：(7)費用対効果」『保健師ジャーナル』第61巻第1号(医学書院)を読み、次の指示に従い「費用対効果分析のデータ」の分析を自分で確かめなさい。なお、この問題文自体は書かず、また「答」などと書かないこと。

i) 原データの表、図2点（分析中にあり）を作成すること（その解説をそれぞれ100字程度で作成し添えること）。図は色付だと見やすい。

ii) 重回帰分析（分析ツール）により、関係式

$$\text{BMI 改善} = 0.092 \cdot \text{経費} - 0.011 \cdot \text{マン・パワー} + 2.895$$

を求めること。 R^2 、 t 値には今回はふれなくてよい。

（重回帰分析において、表における字を含めるときは「ラベル」にチェック・マークを入れ、また「残差」も必要なのでチェック・マークを入れること）

iii) 予測対実際値の表（分析中にあり）を重回帰分析の「残差」から作成すること

iv) 分析文を1000字程度にまとめて作成すること（論文の文章のまとめでもよい。なお字数には上記の300字程度を含めてよい）。表、図、計算結果を利用するときは、「表から」「図○から」「○○分析の結果から」という文を入れること。表、図などは、文中の中途に、最も適切な位置に置くこと。